

高校生が 求める防災



防災の現状を学ぶ

地域・教育をテーマに「防災」の課題研究に取り組んだ常葉大菊川高校文理コースの生徒たち。静岡県地震防災センターの見学や常葉大学社会環境学部の阿部郁男教授の講義を受講し、長年この地域で指摘されている大規模地震発生の危険性を改めて学びました。また、常葉大学社会環境学部の重川希志依教授とゼミ生を講師に招き、災害時の対応などを学ぶクロスロードゲームに挑戦。大学生と一緒に参加した市職員と意見交換を行い、防災への意識を高めました。



クロスロードゲームでは、いろいろな人と意見交換することで、防災の大切さを身近に感じました。災害が起こったら、市民一人ひとりが、協力していかないといけないと思いました。

高校生主体の防災イベント

生徒たちは、8月に文化会館アエルで開催された子ども科学教室にも講師として参加。液化化現象の実験などをおこなって、伝えることの難しさも実感しました。

さまざまな体験をした生徒たちは、同校2年生を対象にアンケートを実施しました。調査の結果、「防災に対し、意欲関心がある人は多いが、防災に関する知識が浅い」とことや、「防災3点セットの認知度が低い」ことなどが分かりました。



こども科学教室に参加した子どもたちや保護者に防災情報を伝える良い機会になりましたが、教えることの難しさも痛感しました。

講義やフィールドワークの調査結果を踏まえ、プレゼンテーション大会では、通常の防災訓練以外の訓練を実施することや、高校生が主体となり、商店街などで防災グッズの周知・啓発を目的としたイベントの開催を提案しました。また、訓練やイベントの効果として、高校生を中心とした防災活動が行われることで、次世代へ知識や経験を継承できることや行政などの協力で、住民の防災意識を向上させることができることなどを発表しました。

STUDENT VOICE



常葉大菊川高校2年生
横山 晴香さん
(牧之原市)

プレゼンは初めてで、資料作成が大変でしたが、しっかりと流れにして伝えられました。今回の提案が実際に行われて、地震が来たときに役立ってほしいです。

また、防災意識を持つことは大事なので、自分の心にとめて生活していきたいです。



常葉大菊川高校2年生
川端 一輝さん
(牧之原市)

発表はとても緊張しましたが、今まで活動してきたことを伝えられました。発表内容が、これから市に広がって、活用していけたら、もっと住み良いまちになると思います。私も学んだことを生かし、災害に備えて、防災3点セットを用意しておきたいです。

覚えておこう！ 防災3点セット



皆さんは、防災3点セットと聞いて、何を思い浮かべますか？災害時に必要な防災3点セットとは、「靴・笛・懐中電灯」の3つです。覚えておきましょう！

